

佐野市景況レポート

令和7年7～9月期



佐野商工会議所
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517
HP <https://www.sanocci.or.jp>
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

《 概 況 》

トランプ関税の影響は限定的？

【 令和7年7～9月期 実績 】

全業種業況 DI 指数は▲20.2、前期（6月期）比+3.8ポイントと、市内事業所の業況感は前回6月の調査から3.8ポイント改善しました。

利益 DI 指数▲27.5（前期比+0.7）、売上高 DI 指数▲18.1（前期比+2.6）と、売上高 DI 指数はやや改善しましたが、利益 DI 指数は横ばいに留まりました。また、原材料・仕入価格 DI 指数は40.3（前期比▲10.0）、販売価格 DI 指数は15.8（前期比▲3.3）と、原材料・仕入価格 DI 指数と販売価格 DI 指数はともに低下しました。一方、業種別の業況は、飲食店の利益 DI 指数が▲61.9（前期比▲24.4）と大幅に悪化しました。これは、売上 DI 指数の低下と販売経費 DI 指数の増加によるものと推測します。

【 令和7年10～12月期 見通し 】

3カ月前の全業種業況 DI 指数は▲19.4（前期比+10.7）と、業況感の改善を見通しています。売上高 DI 指数▲18.4（前期比+7.1）、原材料・仕入価格指数36.4（前期比▲3.4）、販売価格指数9.8（前期比+4.8）と、前期予想に比べ、売上高指数、原材料・仕入価格指数、販売価格指数、3指数とも改善を予想しています。日米関税交渉の合意が今後の景況感の改善に寄与したと思われます。

【 事業所等の景況コメント他 】

事業所等の景況コメントには、①原材料・仕入価格等の物価高騰、②物価高、猛暑等による消費の低迷に関するコメントが多く寄せられました。

〔佐野市内における業況天気図〕

	実 績（令和7年7～9月期）		見通し（令和7年10～12月期）	
業 況	▲20.2		▲19.4	
売 上 高	▲18.1		▲18.4	
販 売 価 格	15.8		9.8	
仕 入 価 格	40.3		36.4	
労 働 力	▲17.8		—	—

* 天気図の説明
（数字は DI 値）
・ 仕入価格、販売経費、在庫は DI 値をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26 以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26 以下

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清（中小企業診断士）

☆ 業況について（令和 7 年 7～9 月期実績）

天気図



全業種 DI 指数▲20.2、前期比 3.8 ポイント上昇

業種別 DI 指数

上位 3 業種

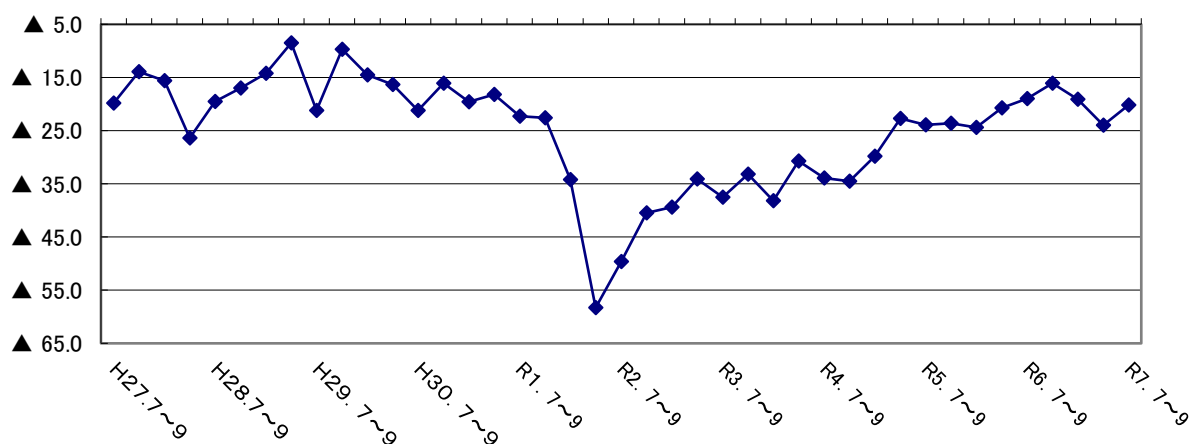
①卸売業 17.6 ポイント、②繊維品製造業 0.0 ポイント、③設備業▲6.7 ポイント、

下位 3 業種

①その他の小売業(大型店含む)▲62.8 ポイント、②化学・プラ製造業▲31.0 ポイント、
③その他の製造業▲27.3 ポイント

良い
↑
悪い

業況(全体)



☆ 売上高について（令和 7 年 7～9 月期実績）

天気図



全業種 DI 指数▲18.1、前期比 2.6 ポイント上昇

業種別 DI 指数

上位 3 業種

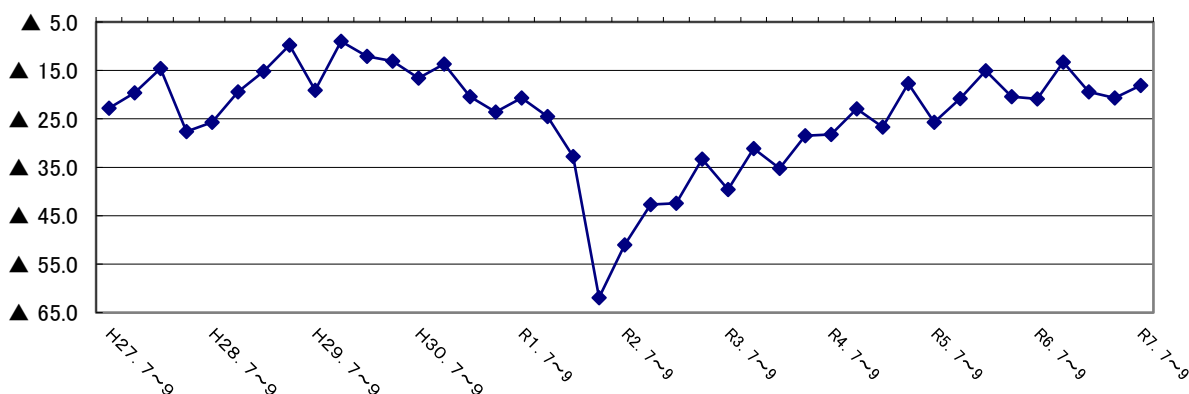
①繊維品製造業 23.1 ポイント、②卸売業 9.7 ポイント、③食品製造業 8.6 ポイント

下位 3 業種

①その他の小売業(大型店含む)▲54.5 ポイント、②飲食店▲41.5 ポイント、③建設業▲28.8 ポイント

増加
↑
減少

売上高(全体)



☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（令和 7 年 7～9 月期実績）

全業種 DI 指数 40.3、前期比▲10.0 ポイント低下

業種別 DI 指数

上位 3 業種

①飲食店 80.0 ポイント、②小売業（飲・食料品）55.6 ポイント、③食品製造業 52.9 ポイント、

下位 3 業種

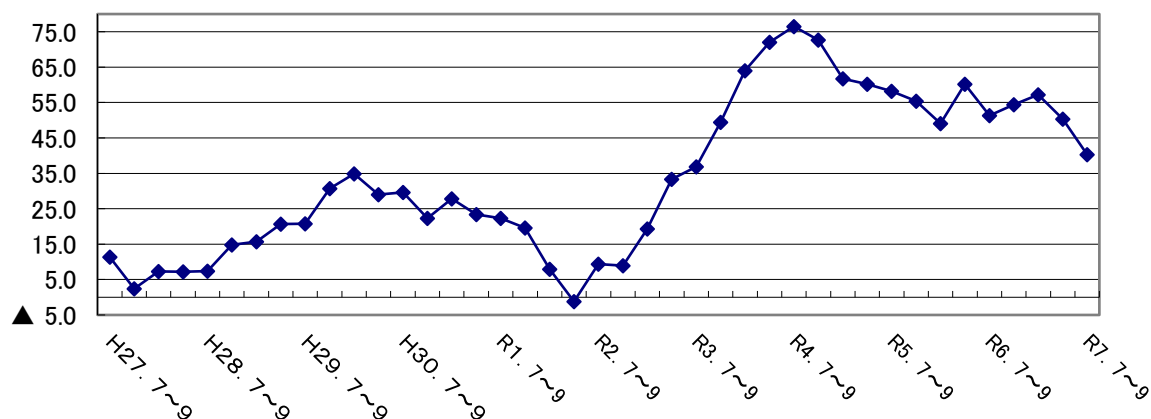
①機械・金属製造業 9.4 ポイント、②その他の製造業 18.8 ポイント、③化学・プラ製造業 31.0 ポイント

天気図



上昇
↓
下落

原材料仕入価格・仕入価格(全体)



☆ 受注販売価格・商品販売価格について（令和 7 年 7～9 月期実績）

全業種 DI 指数 15.8、前期比▲3.3 ポイント低下

業種別 DI 指数

上位 3 業種

①小売業（飲・食料品）55.6 ポイント、②卸売業 37.5 ポイント、③食品製造業 24.3 ポイント

下位 3 業種

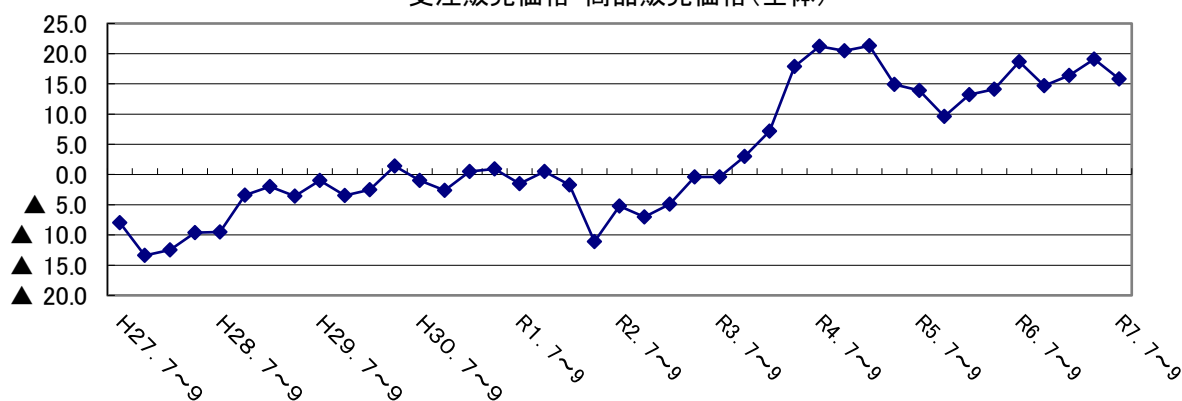
①設備業、繊維品製造業、機械・金属製造業 0.0 ポイント、②サービス業 14.3 ポイント、③化学・プラ製造業 14.8 ポイント

天気図



上昇
↓
下落

受注販売価格・商品販売価格(全体)



☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（令和7年7～9月期実績）

全業種 DI 指数 0.5、前期比 0.9 ポイント上昇

業種別 DI 指数

上位 3 業種

①化学・プラ製造業 14.8 ポイント、②機械・金属製造業 13.8 ポイント、③飲食店 4.1 ポイント

下位 3 業種

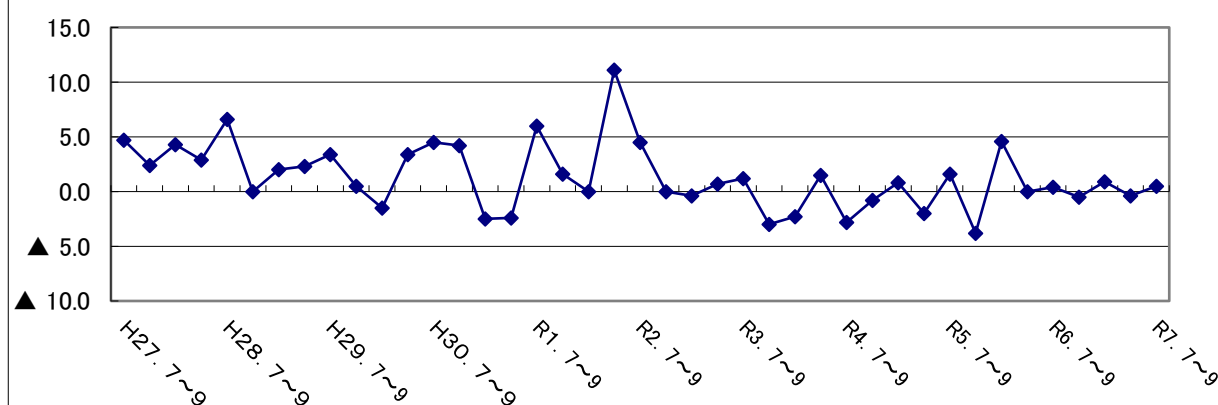
①その他の製造業▲17.6 ポイント、②設備業▲13.0 ポイント、③その他の小売業(大型店含む)▲12.0 ポイント

天気図



過大
↑
↓
不足

製品（材料）・商品在庫(全体)



☆ 利益状況について（令和7年7～9月期実績）

全業種 DI 指数▲27.5、前期比 0.7 ポイント上昇

業種別 DI 指数

上位 3 業種

①繊維品製造業、卸売業 0.0 ポイント、②サービス業▲11.7 ポイント、③設備業▲13.0 ポイント

下位 3 業種

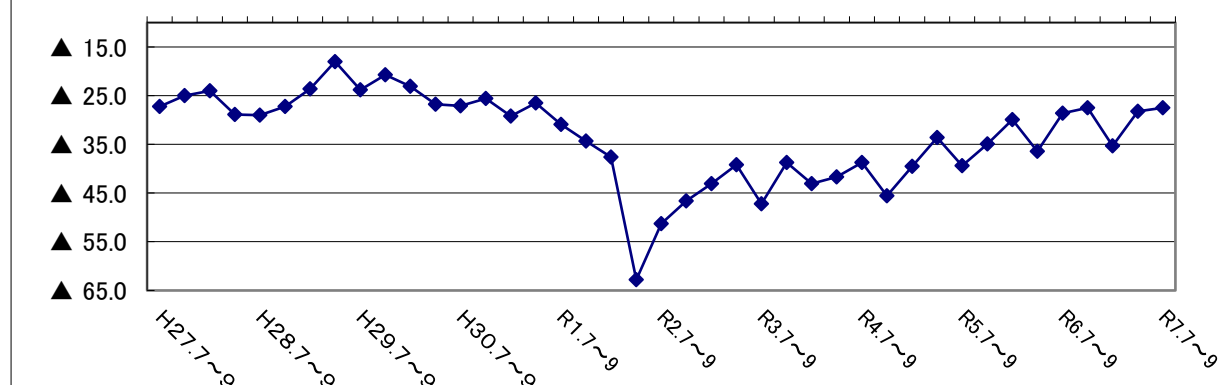
①飲食店▲61.9 ポイント、②その他の小売業(大型店含む)▲46.7 ポイント、③その他の製造業▲37.5 ポイント

天気図



増加
↑
↓
減少

利益状況(全体)



☆ 資金繰りについて（令和7年7～9月期実績）

天気図



全業種 DI 指数▲16.4、前期比▲0.2 ポイント低下

業種別 DI 指数

上位3業種

①繊維品製造業、卸売業 0.0 ポイント、②機械・金属製造業▲4.5 ポイント、③建設業▲7.9 ポイント

下位3業種

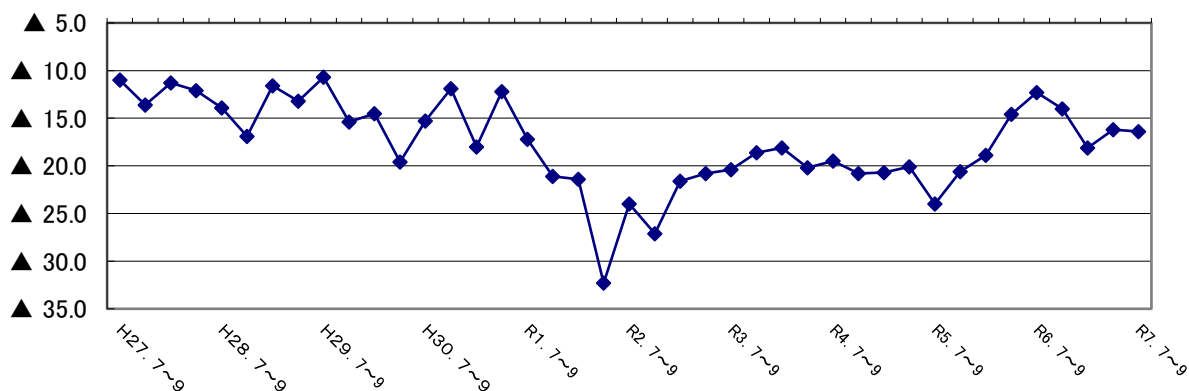
①飲食店▲35.3 ポイント、②その他の小売業(大型店含む)▲31.9 ポイント、③化学・プラ製造業▲26.3 ポイント

楽



苦しい

資金繰り(全体)



☆ 労働力について（令和7年7～9月期実績）

天気図



全業種 DI 指数▲17.8、前期比 2.4 ポイント上昇

業種別 DI 指数

上位3業種

①繊維品製造業、化学・プラ製造業 0.0 ポイント、②サービス業▲7.1 ポイント、③小売業(飲・食料品)▲9.7 ポイント

下位3業種

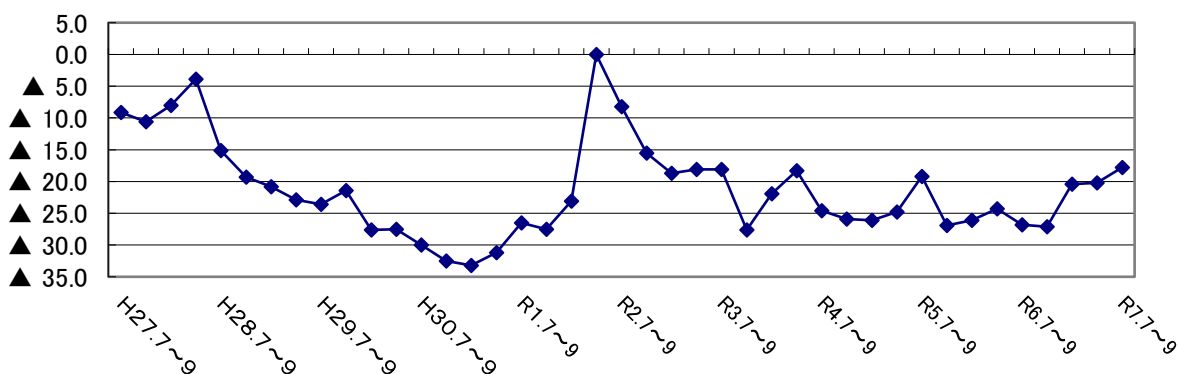
①食品製造業▲42.9 ポイント、②建設業▲39.1 ポイント、③設備業▲28.6 ポイント

過剰



不足

労働力(全体)



☆ 設備稼働率について（令和7年7～9月期実績） （建設・設備・製造業関係）

天気図



全業種 DI 指数▲4.8、前期比 5.3 ポイント上昇

業種別 DI 指数

上位 3 業種

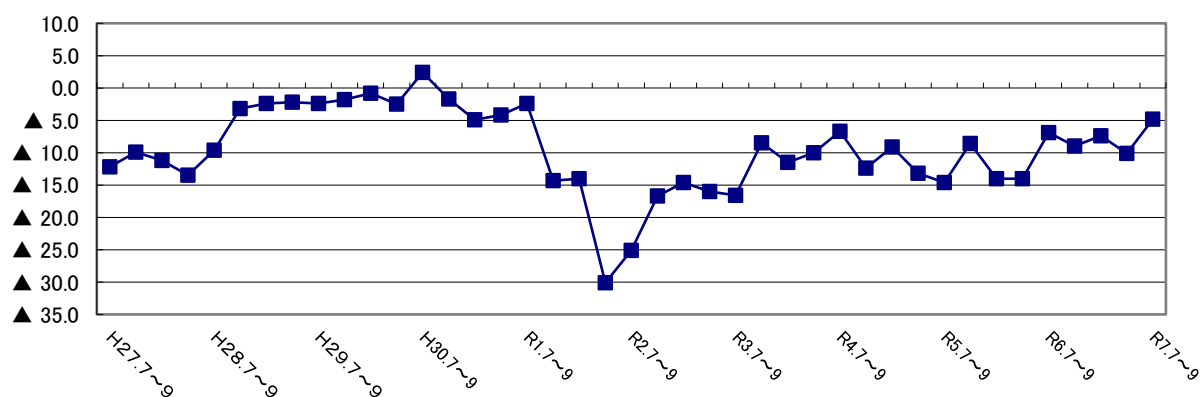
①繊維品製造業、食品製造業 0.0 ポイント、②機械・金属製造業▲9.4 ポイント、③その他の製造業▲17.6 ポイント

下位 3 業種

①建設業▲24.3 ポイント、②設備業、化学・プラ製造業▲20.0 ポイント、③その他の製造業▲17.6 ポイント

高い
↑
低い

設備稼働率（建設・設備・製造業）



☆ 販売経費について（令和7年7～9月期実績） （商業・サービス業関係）

天気図



全業種 DI 指数 32.0、前期比 10.1 ポイント上昇

業種別 DI 指数

上位 3 業種

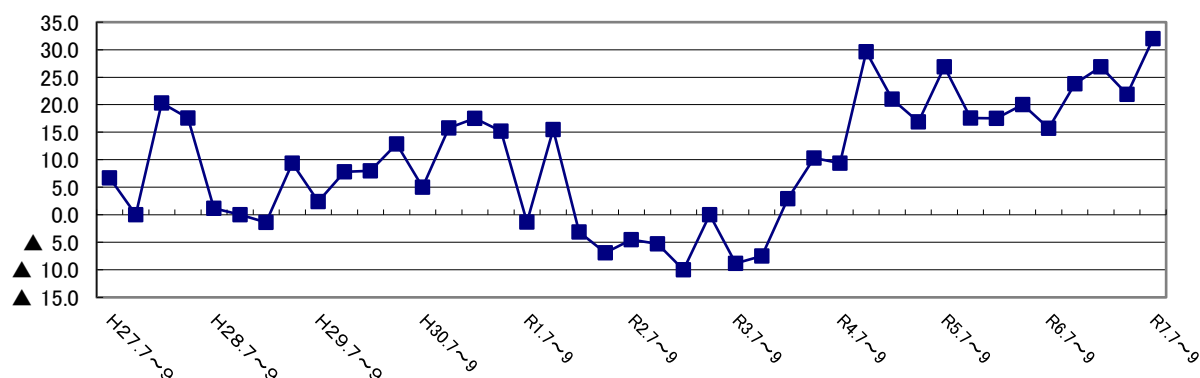
①飲食店 56.3 ポイント、②小売業（飲・食料品）42.9 ポイント、③サービス業 30.0 ポイント

下位 3 業種

①その他の小売業（大型店含む）0.0 ポイント、②卸売業 27.3 ポイント、③サービス業 30.0 ポイント

増加
↑
減少

販売経費（商業・サービス業）



☆ 今後3ヶ月先（令和7年10～12月期の見通し）の業況について

全業種 DI 指数▲19.4、前期比 10.7 ポイント上昇

業種別 DI 指数

上位3業種

①卸売業 9.1 ポイント、②食品製造業 0.0 ポイント、③機械・金属製造業▲4.8 ポイント

下位3業種

①その他の小売業(大型店含む)▲62.8 ポイント、②化学・プラ製造業▲31.0 ポイント、③飲食店▲30.4 ポイント

天気図

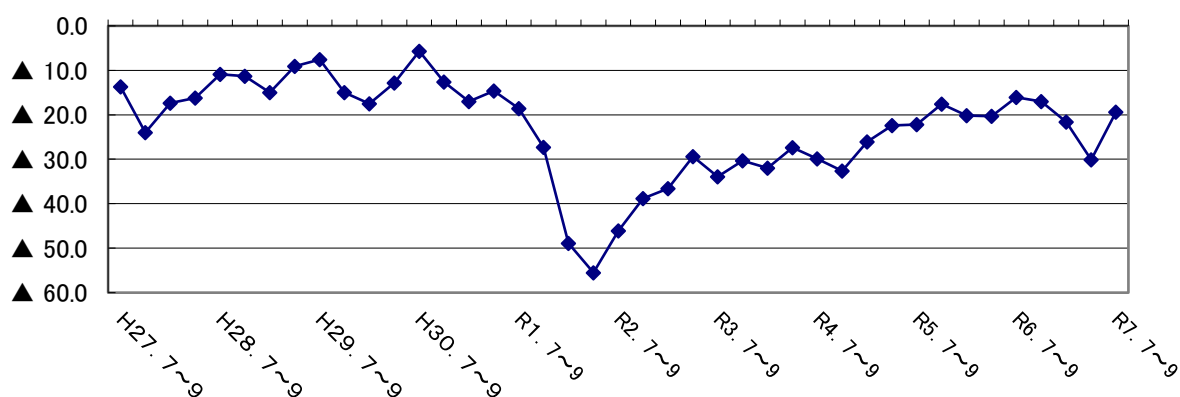


良い



悪い

業況予想(全体)



☆ 今後3ヶ月先（令和7年10～12月期の見通し）の売上高について

全業種 DI 指数▲18.4、前期比 7.1 ポイント上昇

業種別 DI 指数

上位3業種

①食品製造業、その他の製造業、小売業(飲・食料品)0.0 ポイント、②建設業▲8.1 ポイント、③卸売業▲9.7 ポイント

下位3業種

①その他の小売業(大型店含む)▲54.5 ポイント、②飲食店▲32.3 ポイント、③サービス業▲22.5 ポイント

天気図

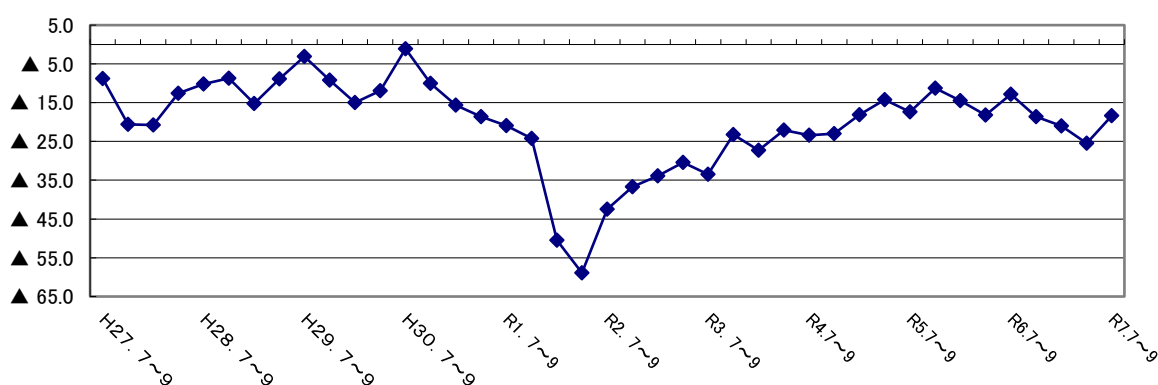


良い



悪い

売上高予想(全体)



☆ 今後3ヶ月先（令和7年10～12月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

全業種 DI 指数 36.4、前期比▲3.4 ポイント低下

業種別 DI 指数

上位3業種

①飲食店 80.0 ポイント、②小売業(飲・食料品)69.2 ポイント、③卸売業 60.0 ポイント

下位3業種

①機械・金属製造業 4.8 ポイント、②その他の製造業 9.1 ポイント、③繊維品製造業 23.1 ポイント

天気図

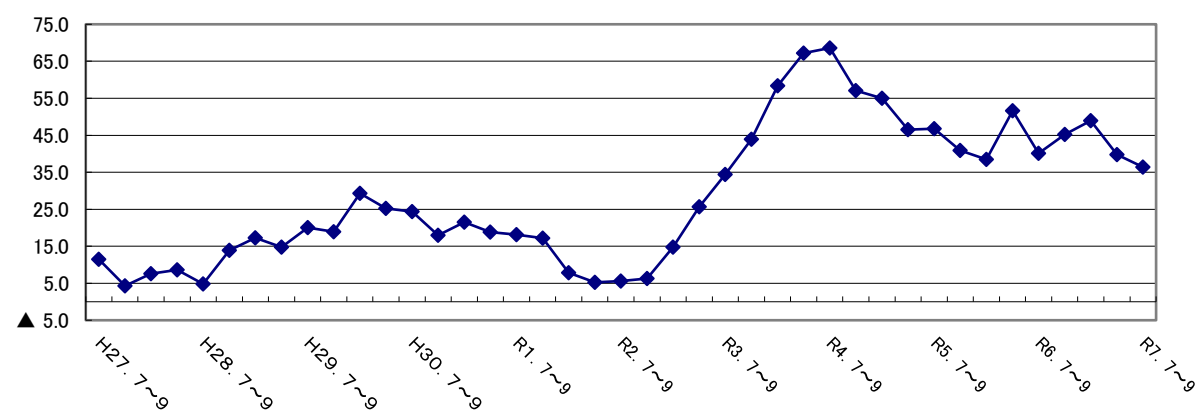


上昇



下落

原材料仕入価格・仕入価格予想(全体)



☆ 今後3ヶ月先（令和7年10～12月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

全業種 DI 指数 9.8、前期比 4.8 ポイント上昇

業種別 DI 指数

上位3業種

①卸売業 37.5 ポイント、②小売業(飲・食料品)31.0 ポイント、③食品製造業 15.8 ポイント

下位3業種

①設備業、繊維品製造業、機械・金属製造業、その他の製造業 0.0 ポイント、②化学・プラ製造業 4.9 ポイント、③建設業 8.1 ポイント

天気図

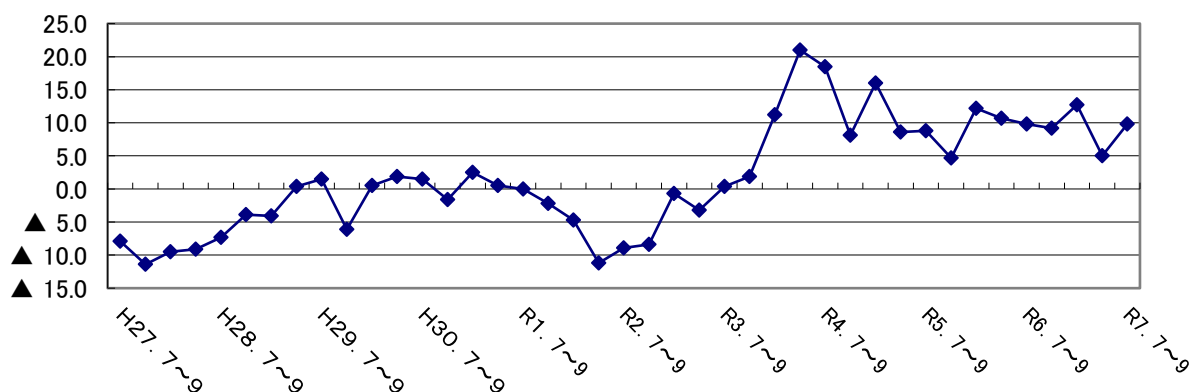


上昇



下落

受注販売価格・商品販売価格予想(全体)



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・家を建てる人が減少してきた感があります。
- ・需要が減少しているのを感じる。業種的に過剰在庫を抱える仲間が増え、値下げしても売りさばきたいとの声も聞かれて来た。厳しい状況は更に拡大しそうに思う。

設備工事業

- ・10月から空調機、衛生器具等機材の値上げ有り。
- ・メーカーより度重なる価格改定が通知されて来ます。どう対応したらいいのか大変です。
- ・かなりきびしい。
- ・特に上昇する要因はなく横ばいが続いている。

繊維品製造業

- ・在庫調整のあおりを受けています。
- ・他の業種からの問い合わせが増えており、より高度な対応を求められる。
- ・引き続き仕入価格は上昇しています。これから少し厳しくなるような気がします。

食品製造業

- ・物価高に対して、お客様も購入するのを絞っているようです。これから先、不透明な日常が過ぎるのではないか。こちらはしっかりいい品を作っていくしかありません。

機械・金属製品製造業

- ・トヨタ自動車関係のメーカーよりコストダウンの依頼があった。
- ・いわゆるトランプ関税がどう影響するのか不透明であり、問題でもあります。
- ・休みが多すぎる。

化学・プラスチック製品製造業

- ・運輸部、加工部、倉庫部とあり、運輸、倉庫で日産の景気の減速で1～2割の売り上げが減少した。まだ現在もつづいている。
- ・7月から体調不良のため、8月から得意先に連絡をして仕事を辞めることにしました。9月14日で機械搬出となりました。
- ・急激な人件費上昇についていけない。

その他製造業

- ・業況は現状維持だが、それ程楽ではない。政府の不況対策は何も出来ていないが、長引くと影響が出てくると思う。東京のオフィス需要はある様だが、賃金の上昇は弊社には◎である。インフレはない。
- ・今年はとにかく客が少ないです。

卸売業

- ・人手不足のため、顧客各工場で省人化に向けた設備の話があるが、見積後の投資までには至っていない。
- ・米相場の動向が気に掛かります。
- ・お取引様の減少による売上の減少。ここ1年は厳しい状況です。

小売業（飲・食料品）

- ・物価高に伴い客単価上昇、人件費上昇、適正化すすめ、利益確保。

- ・ 2025 春あたりから依頼の質が変わってきて、農家系ではなく施設や洋菓子店からの OEM が入るようになってきました。この線増やしていきたい。

その他の小売業（大型店含む）

- ・ 秋頃(10 月)からファイル・バインダーの仕入価格が値上げになる旨メーカーより連絡があり。
- ・ 猛暑で秋物の販売に影響している。
- ・ 猛暑の為、客足とだえ売上減少している。
- ・ 人件費の上昇で人件費比率が上がり雇用ができない。
- ・ 米トランプ大統領、医薬品輸入関税 20%以上政策発表後、医薬品大手メーカー原料費、諸経費上昇により今後仕入価格大幅上昇心配である。
- ・ コロナ禍依頼、来店客の減少が気になります。
- ・ 仕入価格と販売価格が変動がある為、販売が他のスタンドについていけません。

飲食店

- ・ さのまるペイに期待します。少々利用方法が難しそうなので不安もあります。
- ・ 6 月以降気温の上昇により、暑さの影響で客数が減少により前年割れの売上現状です。10 月以降の気温(気候)が気になります。
- ・ いつもありがとうございます。引き続き宜しくお願いします。野菜を配達してもらえ業者さんいたら教えて下さい。
- ・ 人件費、材料費高騰の為、苦しい。
- ・ 日々むらがり忙しい日と、暇な日ははっきりしている。法事等は収益があるが、人数が減っているのてたいへんです。
- ・ 皆様にはいつもご尽力頂き感謝致します。
- ・ 9 月より全品値上げにともない販売数の下落が予想される。
- ・ 米がたかい。
- ・ 毎年のように給与を上げなければならないのは大変。
- ・ 秋から冬にかけて売上が増加することを期待しています。

サービス業

- ・ 結婚式業界は依然として低迷しているので、打開策、方向性の転換など試行しているものの決定には至らない。
- ・ 以前からのお客様からのご相談が増加傾向です。
- ・ インフレの影響により、住宅価格が上昇し住宅の受注が数割減。これにともなう住宅産業の体力が先々不安である。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 令和7年7月～9月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施し、162社（回答率55.8%）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

D I 方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所